

みくに



〈ハンバーガー屋さんにて〉

2023年標語聖句

「あなたの重荷を主にゆだねよ
主はあなたを支えてくださる。」

詩編 55篇23節

社会福祉法人 みくに園
障害者支援施設 みくに成人寮
TEL: (0879) 68-3104 FAX: (0879) 68-3920
〒761-4661 香川県小豆郡土庄町豊島家浦902番地1
HP: <http://www.teshimamikunien.com>

「これからの私」

一般棟主任 柴田 裕紀子

私は今年の4月に2度目の育児休業から復帰し、現在は2人の子どもを育てながら仕事をしています。子育てをしながら仕事をするのは大変ですが、教えられることがたくさんあります。

一つは、自分一人では、本当に何もできないということです。それは、今まで以上に感じています。みくに園は離島にあり、私の場合は通勤手段が船です。利用している船は1日数便しかなく、子どもの保育時間の都合上、短時間勤務をしています。職場の人や家族の援助がなければ仕事も続けられません。周りの人達にはいつも感謝の気持ちで一杯です。いつか、私が助ける立場になった時、恩返しをしなければと思っています。

次に、子育ての悩みは尽きないということです。毎日一緒にいてもこれだけ心配なのに、保護者の皆さんは利用者さんと離れて暮らしているので本当に心配されているだろうなと思います。特にこのコロナ禍の3年間は帰省や面会などが制限され、直接会うこともできず、本当に不安な日々を過ごされていたことと思います。

利用者さんや私を援助してくれる周りの人達、そしてこの仕事で培った経験は私の大きな財産です。この子育てと仕事の両立の日々は、きっと私を大きく成長させてくれると信じています。

今の子育ての経験を活かし、言葉では上手く伝えられない利用者さんの気持ちに寄り添った支援を行っていきたいと思います。

5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症になりました。それに伴って、みくに園でも少しずつですが、いろいろな制限を緩和し、6月には帰省や外出を行いました。行事も一般棟と高齢者棟が合同で行えるようになりました。久しぶりの外出や行事で楽しそうにしている利用者さんの笑顔は、私に癒しと元気を与えてくれます。

忙しい毎日ですが、仕事への思いは以前と変わりません。利用者さんが毎日楽しく過ごし、保護者の方々にも、みくに園なら大丈夫と安心していただけるような施設創りを目指し、みくに園の一員としてこれからも頑張っていきます。

高齢者棟での暮らし

高齢者棟 副主任 佐藤 栄晃

高齢者棟は、車椅子の利用者さんやご高齢の利用者さん、介護度が高い利用者さんが生活しています。年齢と共に以前のように動けない場面もありますが、皆さん元気に過ごしています。私たち職員は、いつまでも元気で楽しく暮らしてほしいと願いながら、日々支援しています。

今回は、「元気で楽しい暮らし」のために、高齢者棟で行っている取り組みを紹介します。

〈ラジオ体操〉

しっかりと手を上にあげることができます。



〈歩行練習〉

利用者さんのペースに合わせて廊下を往復します。



高齢者棟ではラジオ体操を行っています。第1、第2とDVDを観ながら音楽に合わせて思い切り身体を動かします。長年続けてきたことで、皆さん音楽が流れると自然に身体が動いています。職員も一緒に行くと普段の運動不足からか息が切れることもあり、かなりハードです。でも、利用者さんは息を切らすことなく最後まで行きます。また、車椅子の方に合わせて座位バージョンも行っています。その他に、週に2回、専門の職員による運動教室では園内外での歩行練習を行っています。

みくに園では管理栄養士のもと、利用者さんの健康状態に合わせて食事の量や献立が決まっています。皆さん好き嫌い無く毎日ほとんど残さず食べていますが、「好きなものを思い切り食べたい!」と、そんな願いがあります。

高齢者棟では、普段のおやつ以外に、利用者さんにリクエストを聞き、おやつのイベントを行っています。先日は、「手作りスイーツ」と題して自分好みにフルーツやソースを選んでオリジナルパンケーキを作りました。普段は食べることに制限がある利用者さんも、この日ばかりは好きな物を自分で盛り付けて食べました。



みくに園では「行事」も大切にしています。お正月やお花見、夏祭り等、春夏秋冬に合わせて行事を行っています。季節の節目に行われる行事には、周りへの感謝や皆のしあわせや健康を願う意味が込められています。7月7日の七夕では笹の葉に飾りつけを行いました。短冊に、「お母さんが作ったちらし寿司が食べたい」「毎日元気で過ごせますように」など、それぞれの思いを書き、願いを込めて笹の葉に吊るしました。

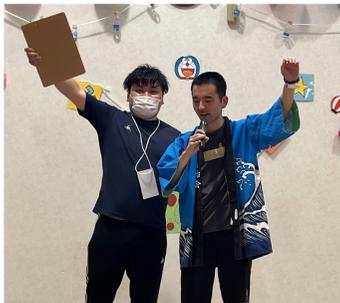
みくに夏祭り

ここ数年、コロナ禍で規模を縮小して行っていた夏祭り。今年は4年ぶりに豊島中学校の生徒さんと先生方に参加していただき盛大に行いました。

利用者さんの力強い開会宣言から始まり、中学生による青いハッピーを身にまとった迫力あるソーラン節と楽しくて思わず身体が動いてしまうダンスが祭りを盛り上げてくれました。

その後、利用者さんのお待ちかねの屋台の始まりです。前日から楽しみでワクワクしていました。今年は駄菓子屋、輪投げ屋、アイスクリーム屋、ジュース屋を出店しました。店員さんは中学生の皆さんです。それぞれの屋台で楽しそうに利用者さんと関わっていました。その中でも大人気だったのは、輪投げ屋さんです。輪を投げてお目当てのお菓子をゲットするゲームです。皆さんお菓子がいっぱい取れて大興奮です。そして昼食は厨房職員が頑張ってくれた屋台メニューです。焼きそば、唐揚げ、フランクフルトなど盛りだくさんのごちそうを前にし、どれから食べようか迷っていました。食べるのが大好きな利用者さんは、あっという間に完食していました。

豊島中学校の皆さん、暑い中、ボランティアに来ていただきありがとうございました。おかげさまで笑顔がいっぱいの大満足の日になりました。
〈堀本 記〉



待ちに待った日

新型コロナウイルスの発生から3年余りが経ちました。この3年間は、色々なことに制限がかかり、今まで当たり前できていたことができなくなりました。特に、人との距離を置かなくてはならなくなり、会いたい人に会えない日々を本当に辛い思いで過ごしました。

政府は新型コロナウイルスの感染法上の分類を令和5年5月8日から、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げました。

みくに園では、5月8日以降も利用者さんやご家族様のご協力のもと、帰省や面会の制限を続けてきましたが、利用者さんが、オミクロン株対応の新型コロナウイルスワクチン接種を終えたことで、6月にはやっと、帰省や面会、外出を緩和することができました。

今日まで続いた厳しい自粛生活から一気に元の生活には戻れませんが、久しぶりにご家族と一緒に過ごし、念願だった買い物や外出などに出掛けることができました。皆さん、特別な時間を過ごすことができたのではないのでしょうか。

利用者の皆さんは元気に、そして、とても満足した顔でみくに園に帰って来られました。

〈高橋 記〉



長い間、帰省や面会等の制限にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

みくにバーガー開店

「ハンバーガーが食べたい!」の利用者さんからのリクエスト。そのリクエストに応え、「みくにバーガー屋さん」を開店しました。お店の雰囲気を出すために装飾し、中庭にはテラス席を設けました。色々な種類のハンバーガーや飲物も準備し、メニューは写真やイラスト入りで分かりやすくしました。今日は、自分でメニューを見ながら選びます。飲物のコップの大きさも自分で決めます。メニューが決まってから温め、その場で飲物を入れました。日頃、待つことが苦手な利用者さんも今日は注文の品が出来上がるまで静かに待っています。

厨房が準備してくれたポテトフライやチキンナゲットのサイドメニューもあります。そして、何より、ハンバーガー屋さんに花を添えてくれたのは、ニコニコしながら注文を聞いてくれるかわいい店員さん。実は、高松大学の実習生さんです。「スマイルは0円です!」いいえ、そのスマイルは、何ものにも代えがたい最も価値のあるものです。

〈高橋 記〉



みくに菓子工房より

東京都美術館で行なわれているマティス展（4/27～8/20）のショップで、みくに園のレモンケーキが販売されています。スタッフの方が様々な種類のケーキを試食してみくに園のレモンケーキが選ばれました。開幕初日には、たくさんの人が手に取ってくださったと主催された方から連絡がありました。



〈東京都美術館 マティス展〉

遠い地で、みくに園のレモンケーキを大切に思ってくさっている方々がおられることに感謝いたします。

また、愛媛県で行なわれた第5回ダルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル日本大会プロの部でみくに園のレモンマーマレードが銀賞を受賞しました。

お知らせ

- ・ 6月12日～6月23日までの間の10日間、高松大学発達科学部子ども発達学科2名の実習生を受け入れました。
- ・ 週末帰省や面会等を再開しています。ご希望の方は各棟までお問い合わせください。
- ・ みくに園で行っていたイチゴ事業は、今年の5月をもって終了いたしました。長い間ありがとうございました。

環境整備

今年も、みくに園周りの水路掃除や草刈りを行いました。

暑い中、職員は慣れない草刈り機を持ちながら頑張りました。水路掃除は台風や豪雨の際に道路が冠水するのを防ぎます。

大きな台風が来ないことを願いますが、もしもの場合に備えることが大切です。



編集後記

日本では梅雨明け前から猛暑日が続いていますが、世界中では最高気温が50℃を超える地域もあるそうです。暑い日が続いていると思えば、各地で豪雨災害も発生しています。

被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。これから地球はどうなっていくのか、不安が募るばかりです。

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことで、みくに園でも以前のように一般棟と高齢者棟が一緒になって行事を楽しめるようになってきました。利用者さんの溢れんばかりの笑顔を見て、当たり前の日々がこんなにもありがたい事なのだと、強く実感しています。

厳しい暑さに負けぬよう、体調管理に気を付け、皆で元気に夏を乗り越えたいと思います。

〈古川 記〉

* みくにだよりへのご意見をお待ちしています。

E-mail: kgk03317@nifty.com

FAX: 0879-68-3920

みくにだより編集部：（158号 2023年8月発行）